DigiQ TRAIN デジキュートレイン™

# 複線高架に対向式ホーム登場!!

© 2003 KONAMI

text:RMM／photo:羽田　洋(特記以外)
取材協力:コナミ株式会社

**本誌96号で速報した通り、コナミ・デジQトレインの運転をさらに楽しくする強力アイテム、複線レール&複線高架レールシステムがまもなく発売される。これはかねてからの予告通り…なのだがナント、複線高架用対向式ホームセットが同時発売されるというニュースが飛び込んできた。デジQトレインファンのニーズを考えれば出るべくして出た…とも言えるが、エンドレスが組める基本セットと同時にリリースして、いきなり本格高架レイアウトを実現できる環境を整えてしまうのだから、やってくれます！　デジQトレインの強力新アイテムの全貌に迫ってみよう。**

複線の面白さは列車の離合や、あるいは追い抜きなどが楽しめること。その意味では普通のレールを2本並べても（セッティングの手間はかかるものの）複線の運転の面白さを味わうことができる。だが複線レールや複線高架レールには、もっと大きな魅力があるのだ。

一言で言えば、走る列車を取り巻く空間が丸ごと再現されている点だ。犬走りや柵、防護壁などのディテールも楽しめるが、なによりレールを中心に密度の高い空間が出現することには想像以上のインパクトがある。本格的なジオラマならともかく、この「空間」のテイストをフロア運転で気軽に楽しむことができることは大きい。

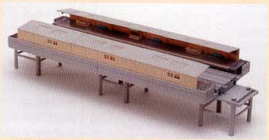
架線柱1つ取ってみても、普通フロア運転で設置するのは不可能とは言わないが、現実にはなかなか難しい。だが複線レール・複線高架レールならワンタッチで設置完了。しかもその効果は大。周囲のディテールの効果もあいまって、列車が走る周囲の空間が、デジQトレインワールドへとワープしてしまったようなリアリティが味わえる。要するに、デジQトレインの独自のセンスで作られた車輌を最も引き立てる舞台が出現するのだ。

この感じ、複線高架レールではさらに如実だ。リアルに作られた橋脚の上に連続する軌道は、大袈裟な言い方をすれば現実とは切り離されて完結したデジQトレインワールドそのものという印象が強い。その中に入り込んで楽しく遊べば、たちまち時が経ってしまう。

この独自の世界をさらに補強して楽しくしてくれる強力アイテム、それが複線高架用対向式ホームセットというわけだ。確かに、複線高架もエンドレスだけでは何かの試験線みたいだし、駅があれば運転面でも、視覚的にも楽しいのは間違いない。高架線を走る列車がホームに滑りこんで停車し、また発車していく様は、講釈抜きで楽しい眺めだ。

複線高架用対向式ホームセットの価格は3,980円。複線レール基本セットおよび複線高架レール基本セットと共に8月28日に発売される。

▲複線高架レールと複線高架用対向式ホームの組み合わせで、雄大な運転が楽しめる。



▲複線高架用対向式ホームの全景。レール部分の長さは132mm×2本分。

## 第5弾車輌発売も間近！

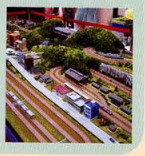
▲第5弾車輌はJR九州の特急車輌3種。9月25日の発売を控えてスタンバイ中！

デジQトレインの第5弾車輌は既報の通りJR九州の特急3種、787系つばめ、883系ソニック、そして885系かもめだ。JR九州のチェックを経て完成した最終サンプルはまさしく迫真の出来。フォルム、カラーリング、そしてささなる標記まで含め、個性派車輌の特徴を余すところなく再現しているゾ。発売は9月25日。

もう1つ、通常ラインナップとは別に、デジQトレイン初の私鉄車輌となる西武鉄道10000系ニューレッドアローの開発も最終段階。こちらも楽しみだ。

▲西武鉄道10000系も最終サンプルが姿を現わした。JR九州承認済・西武鉄道商品化許諾済

▲8月28日には複線&高架アイテムが一挙発売される。左より複線レール基本セット（2,980円）、複線高架レール基本セット（4,980円）、そして今回紹介した複線高架用対向式ホームセット（3,980円）。なお、基本アイテムの単品も同時発売される。

## 国際鉄道模型コンベンションにデジQトレイン大レイアウト登場

本誌発売直後の8月22～24日に開催される国際鉄道模型コンベンション（JAM）に出展予定のコナミブースには、デジQトレインの新製品がズラリと展示される他、特製の大レイアウトも出現するとのこと。お見逃しなく。複線&高架アイテムの先行販売も行なわれるゾ！